～IMFは2025年の世界の経済成長率見通しを下方修正～

◆ 概要

IMF（国際通貨基金）は4月22日に発表した「世界経済見通し」で、実効関税率が100年ぶりの水準に達し、その影響を受けると見て、2025年の世界の経済成長率（実質GDP伸び率）見通しを2.8%と、2025年1月に示した前回の見通しから0.5ポイントと大幅に下方修正しました。また、2026年の経済成長率見通しについても3.0%と0.3ポイント引き下げました。

IMFは、2025年の経済成長率見通しを先進国は1.4%と0.5ポイント下方修正し、新興国も3.7%と下方修正しました。各国・地域ごとの見通しは、米国、日本、ユーロ圏、中国すべてが下方修正されました。米国は従来の減速の兆しに加え、関税引き上げに伴う物価上昇（インフレ）により個人消費が減速するという見通しを理由に、日本は主に自動車関税の打撃の深刻化が懸念されることを理由に、中国は関税の負担による輸出への影響を理由に経済成長率は下方修正されました。また、ユーロ圏においても、関税政策の不確実性や貿易での緊張が強まり経済成長率の見通しが下方修正されました。

世界の総合インフレ率は2024年の5.7%から2025年には4.3%、2026年には3.6%と鈍化する見込みです。ただし、2025年4月4日以降に激化した報復措置の応酬はほぼ含まれていないため、現在トランプ米大統領が進めている政策により、貿易戦争の激化に加え、不確実性が一段と高まれば、短期および長期的な経済成長を抑制しうるため、成長率が下振れする可能性があります。

◆ IMF「世界経済見通し」(2025年4月時点)

	IMF見通し			
	2025年	前回比	2026年	前回比
世界	2.8%	-0.5%	3.0%	-0.3%
先進国	1.4%	-0.5%	1.5%	-0.3%
米国	1.8%	-0.9%	1.7%	-0.4%
日本	0.6%	-0.5%	0.6%	-0.2%
ユーロ圏	0.8%	-0.2%	1.2%	-0.2%
新興国	3.7%	-0.5%	3.9%	-0.4%
中国	4.0%	-0.6%	4.0%	-0.5%

(出所)IMFのデータをもとにJP投信株式会社作成

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号:JP投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2879号
加入協会:一般社団法人投資信託協会

- 当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。